

(様式第7)

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）事後評価書

令和 2 年 3 月 31 日

計画の名称	55. 地域拠点施設アクセス等の生活圏機能向上のための道路整備							重点計画の該当											
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）			交付団体	八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、南関町、和水町、大津町、菊陽町、南小国町、産山村、高森町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町、氷川町、芦北町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、苓北町														
計画の目標	<p>高次医療や教育など都市機能を有する中心地域と生活圏を相互補完する道路網の整備、並びに官公庁、教育施設、医療施設、福祉施設等の主要公益施設、選果場や集荷場、木材出荷場等の主要精算施設、観光地や公園等の主要観光地等の拠点アクセスや道路ネットワーク構築とともに、案内表示の充実や豊かな道路空間形成により生活圏の機能向上を図る。</p>																		
計画の成果目標（アウトカム指標）	<p>地域生活圏機能向上のため、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を23%（H25）から65%（H29）に向上。</p>																		
アウトカム指標の定義及び算定式				<p>生活圏の機能向上のため拠点アクセスや道路ネットワーク構築において、快適に走行できる道路の割合（快適道路率（%））を算出する。 $道路快適率（\%） = \Sigma（改良済延長 \times 交通量） / \Sigma（整備区間延長 \times 交通量） \times 100$</p>			<p>アウトカム指標の現況値及び目標値</p> <table border="1"> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <td>(H24当初)</td> <td>(H27末)</td> <td>(H29末)</td> </tr> <tr> <td>23.0%</td> <td>45.0%</td> <td>65.0%</td> </tr> </table>			当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H24当初)	(H27末)	(H29末)	23.0%	45.0%	65.0%	備考
当初現況値	中間目標値	最終目標値																	
(H24当初)	(H27末)	(H29末)																	
23.0%	45.0%	65.0%																	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	32,087.9 百万円	A	31,319.6 百万円	B	0.0 百万円	C	768.3 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 (C+D) / (A+B+C+D)	2.4%							

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
熊本県土木部により評価を実施	交付期間終了（予算執行完了）後 公表の方法 熊本県ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													全体事業費		費用便益比	備考			
A 地方道路整備事業													（百万円）						
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率（基本）	要素事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	備考
												H25	H26	H27	H28	H29			
55-A1-1	街路	一般	八代市	直接	—	区画	改築	0.55	八千把地区（（都）北部幹線外）	区画整理 A=44.0ha	八代市						563.3		
55-A1-2	街路	一般	八代市	直接	—	区画	改築	0.5	八千把地区（（都）北部幹線外）	区画整理 A=44.0ha	八代市						45.8		
55-A1-3	街路	一般	人吉市	直接	—	S街路	改築	0.55	（都）下林願成寺線	現道拡幅 L=0.38km	人吉市						658.0		
55-A1-4	街路	一般	天草市	直接	—	S街路	改築	0.55	（都）下川原茂木根線	現道拡幅 L=0.22km	天草市						300.0		
55-A1-5	街路	一般	天草市	直接	—	S街路	改築	0.55	（都）今釜本渡港線	現道拡幅 L=0.52km	天草市						900.0		
55-A1-6	街路	一般	御船町	直接	—	S街路	改築	0.55	（都）旭町木倉線	現道拡幅 L=0.97km	御船町						600.0		
55-A1-7	街路	一般	嘉島町	直接	—	区画	改築	0.55	嘉島東部台地地区（（都）嘉島益城線外）	区画整理 A=70.8ha	嘉島町						610.0		
55-A1-8	道路	一般	水俣市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）中尾山線（南福寺工区）	現道拡幅 L= 0.66 km	水俣市						75.4		
55-A1-9	道路	一般	水俣市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）牧ノ内・大迫線（大迫工区）	現道拡幅 L= 1.1 km	水俣市						313.0		
55-A1-10	道路	一般	玉名市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（2）竹崎1号線（竹崎工区）	現道拡幅 L= 0.7km	玉名市						180.0		
55-A1-11	道路	一般	玉名市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）小浜繁根木線（繁根木工区）	現道拡幅・踏切改良 L=0.5km	玉名市						500.0		
55-A1-12	道路	一般	菊池市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）妻越泗水線（新明2工区）	現道拡幅 L= 1.5 km	菊池市						475.3		
55-A1-13	道路	一般	天草市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）小ヶ倉線（小ヶ倉橋工区）	橋梁拡幅 L= 0.01 km	天草市						56.0		
55-A1-15	道路	一般	合志市	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）上群中林線（栄・上庄工区）	新設・バイパス L= 1.30km	合志市						416.0		
55-A1-16	道路	一般	南関町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）蔵・今線（1工区）	現道拡幅 L= 0.6 km	南関町						162.0		
55-A1-17	道路	一般	南関町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）米田・鬼王線（1工区）	新設・バイパス L= 3.95 km	南関町						1,625.2		
55-A1-18	道路	一般	大津町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）瀬田吹田線（吹田工区）	新設・バイパス L= 0.32 km	大津町						40.7		
55-A1-19	道路	一般	大津町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）岩坂南2号線（岩坂工区）	新設・バイパス L= 0.3 km	大津町						116.0		
55-A1-20	道路	一般	菊陽町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（2）川久保南方線（久保田工区）	現道拡幅 L= 0.38 km	菊陽町						86.6		
55-A1-21	道路	一般	南小国町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（2）中湯田赤迫線（中原工区）	現道拡幅 L= 1.24 km	南小国町						286.0		
55-A1-22	道路	一般	南小国町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）瓜上矢田原線（中原工区）	現道拡幅 L= 0.72 km	南小国町						144.0		
55-A1-23	道路	一般	産山村	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）竹の畑・板木線（竹の畑工区）	現道拡幅 L= 1.3 km	産山村						242.0		
55-A1-24	道路	一般	産山村	直接	—	市町村道	改築	0.55	（2）竹の畑・蓬原線（田尻工区）	現道拡幅 L= 1.6 km	産山村						235.0		
55-A1-25	道路	一般	産山村	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）山鹿・大利線（山鹿工区）	現道拡幅 L= 1.0 km	産山村						180.0		
55-A1-26	道路	一般	産山村	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）池山・瀬の本線（池山工区）	現道拡幅 L= 2.2 km	産山村						290.0		
55-A1-27	道路	一般	益城町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（他）広崎古閑線（広崎工区）	現道拡幅 L= 0.05 km	益城町						768.0		
55-A1-28	道路	一般	甲佐町	直接	—	市町村道	改築	0.55	（1）松ヶ崎妙見谷線（糸田工区）	新設・バイパス L= 0.6 km	甲佐町						297.0		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・現道拡整備等を行った結果、道路ネットワーク構築とともに豊かな道路空間形成により、生活圏の機能向上に寄与した。			
II 定量的指標の達成状況	指標① (道路快適率)	最終目標値	65.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	H28に発生した熊本地震の影響により、目標達成できなかった。
		最終実績値	46.3%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					
・現道拡幅等により、当初値と比較し道路快適率の改善に寄与できたが、熊本地震の影響により目標に至らなかったため、今後も整備を進め生活圏の機能向上を図っていく。					